

児童虐待予防プログラムを開発した健康な家族アメリカ (HFA: Healthy Families America) の家庭訪問支援プログラムにおけるオレゴン州で行われている産院でのふるいわけ調査を、愛知県の母子保健の体制の一つである妊娠届出書及び母子健康手帳交付時のアンケート調査への導入可能性について検討した。その結果、オレゴンのふるいわけ項目から日本に適している 15 項目を検討抽出した。平成 23 年度はモデル市において、妊娠届出書及び母子健康手帳交付時のアンケート項目として昨年度抽出した 15 項目について、4 か月児健康診査の結果から有効性を明確にすることを目的に検討した。その結果、支援の必要な家庭は妊娠中に概ね把握できることが明らかになり、平成 24 年度から愛知県 (名古屋市も含む) ではふるいわけの 15 項目のうち 13 項目を盛り込んだ妊娠届出書を統一的な標準様式として作成し、使用することとしている。今後、妊娠届出書及び母子健康手帳交付時のアンケートを活用して、早期にハイリスク家庭を把握し、周産期医療機関との連携の可能性と、母子保健法による新生児訪問指導 (以下「新生児訪問」) や児童福祉法による乳児全戸家庭訪問事業 (以下「こんにちは赤ちゃん訪問」) への応用を考え、早期からのスクリーニングの導入による虐待予防への育児支援を展開したい。

3. 従来の沖縄県の乳幼児健診システムの中で山縣班全国モデル事業に準じて健診データの利活用について検討した。実施にあたってまず県が共通問診項目を設定し市町村で追加項目として問診を行った。小児保健協会では他の健診結果とあわせ入力しデータを県へ報告した。県から保健所へ提供し、保健所ごとに圏域全体または市町村単位に検討会を行った。市町村で保有されている妊婦健診データにつ

いてその利活用について検討した。母子健康手帳番号で妊婦健診データと乳幼児健診データのリンケージが可能であり、妊婦の喫煙、飲酒等の生活習慣等の情報が得られ、乳幼児健診データとあわせた保健指導、事業評価等への利用が期待される。

沖縄県では公益社団法人 沖縄県小児保健協会が県内の市町村から健診の実施や情報処理の委託を受けて乳幼児健康診査を実施しており、小児保健協会には長年のデータが蓄積している。そこで、沖縄県小児保健協会に蓄積されている平成 9 年度以降のデータを縦断的に結合して解析用データセットを作成し、どのような詳細な解析が可能となるかについての検討を沖縄県小児保健協会が実施主体となって行った。同時に A 市の協力を得て妊婦健康診査のデータと乳幼児健診データとの結合の可能性について検討した。全部で 214,725 人分の乳児前期健診データが得られ、そのうち 7~8 割の児について乳児後期健診や 1 歳 6 か月児健診、3 歳児健診のデータと結合することが出来た。このデータを用いて解析を行ったところ、全市町村のデータを 1 箇所で管理することで地域の健康課題に関する検討を全県的かつ縦断的に行えることが明らかとなった。

4. 平成 21 年から 23 年度の研究結果をもとに、発達障害を持つ子どもに関する保育所・幼稚園の教職員と地域保健の連携状況の質を評価する指標 (連携状況評価シート) の原案を作成することを目標とした。研究方法として、本研究は平成 21 年 (地域保健と幼児通園施設への質問紙調査)・22 年 (地域保健側への連携に関する事例聞き取り調査) に加えて平成 23 年に保育所・幼稚園の保育士・幼稚園教諭に地域保健との連携状況や連携に期待することなどについて聞き取り調査を行った。3 つの調査の結果

から、両者の連携状況の質を評価するための項目を抽出し、保育所・幼稚園側 27 項目、市町村側 31 項目、計 58 項目からなる評価指標を作成した。連携状況評価シートの精選並びに妥当性の検討は今後の課題である。

5. 本研究の一環として、2001 年度より構築・運営してきた健やか親子 21 公式ホームページは、10 年間のあゆみとして約 75 万件のアクセス数を得た。本ホームページは、基本的に週に 1 回の更新を行ない、その主な内容とアクセス数を中心に詳細を報告する。更新に伴い、各班員、また健やか親子 21 メーリングリスト会員に通知文を送り、情報の共有、および情報交換を行なっている。各データベースは、WEB 公開された 2001 年 4 月以降、現在まで安定したアクセス数を保持している。取り組みのデータベースは、全国の事業を参照しながら事業計画を立案するためのツールとして活用されており、母子保健・医療情報データベースは、専門職における利用度の高いツールとして好評を得ている。また、平成 23 年 3 月の東日本大震災後には災害時に必要な情報を掲載したが、アクセスが通常の 2.5 倍になり、母子保健の情報源としての重要なツールであることが確認された。

6. わが国の出生数は減少傾向にある。また、近年の分娩取り扱い施設の減少により、妊婦が希望する施設で出産できない、地域によっては分娩取り扱い施設がなく、別の地域で出産しなければならない等、出産を取り巻く環境が悪化しており、さらなる出生数減少への影響が懸念されている。そこで、二次医療圏における分娩取り扱い施設の状況と出生数の変化との関連について明らかにすることを目的として分析を行った。

人口動態調査より平成 16 年と 21 年の出生数、

医療施設調査より平成 17 年と 20 年の分娩取り扱い施設数を収集し、二次医療圏ごとに変化率を算出し、出生数の変化に関連する因子を検討するために、重回帰分析を行った結果、可住地面積 1 キロ平方メートル当たり分娩取り扱い施設数、高齢化率、都道府県における「産科医師、助産師の確保・育成」の取り組みの有無に関連があることが明らかとなった。

出生数の減少対策には、地域における分娩取り扱い施設の確保とそれに向けた取り組みが重要であると考えられる。

D. 結論

1. 母子保健情報の利活用に関するモデル事業の準備として、共通問診票の作成と実施プロトコルを作成した。23 年度に全国 6 保健所 21 市町村でモデル事業を実施した。

2. 愛知県では保健所単位での乳幼児健康診査の個別データ集積システムが構築され、市町村の乳幼児健康診査においてその評価指標に基づく結果の分類を行い、研究班で作成した市町村版母子保健情報データベースや市町村独自システムを用い個々の乳幼児健診結果の電子化（入力）を行った。また、児童虐待予防プログラムを開発した健康な家族アメリカ（HFA : Healthy Families America）の家庭訪問支援プログラムにおけるオレゴン州で行われている産院でのふるいわけ調査を、愛知県の母子保健の体制の一つである妊娠届出書及び母子健康手帳交付時のアンケート調査への導入可能性について検討した。その結果、オレゴンのふるいわけ項目から日本に適している 15 項目を検討抽出した。

3. 母子保健情報の利活用の沖縄モデルでは発達障害に関するフォローアップ体制の構築、乳幼児健診の情報のシステム再構築を支援し、課題を抽出できた。

4. 地域母子保健と保育園・幼稚園の連携状況の質を評価するための項目を抽出し、保育所・幼稚園側 27 項目、市町村側 31 項目、計 58 項目からなる評価指標を作成した。

5. 健やか親子 21 のホームページは東日本大震災の際の有用情報の提供を含め適切に運営され、75 万件のアクセスを超えた。特に、震災後は通常の 2.5 倍のアクセスがあった。

6. 健やか親子 21 の第 2 回の中間評価の詳細分析では出生数に地域の取り組み、面積あたり医の出産取り扱い施設の数、高齢化率が関連していた。

E. 研究発表

1. 論文発表

- 山崎嘉久:乳幼児健診における新しい評価の視点 ～子育て支援と発達支援 愛知県小児科医会報 : 93 : 2011 年
 - 山崎嘉久:乳幼児健診における新しい評価の視点 日本小児科医会会報 : 31 : 2012
 - 山崎嘉久:乳幼児健診における子育て支援と発達支援における医師の役割 愛知県小児科医会報 : 95 : 2012 年
 - 原田正平:現代社会の抱える問題と子どもへの影響 喫煙. 小児内科, 2011・43 巻 5 号 (854-858)
 - 原田正平:子どもをタバコの害から守るためのアジア・太平洋地域での小児科医の連携. 小児科臨床, 2011・64 巻 9 号 (1975-1978)
 - Kano M, Kaneita Y, Hara M, Harada S, Gon Y, Kanamaru H, Ohida T : Longitudinal study of parental smoking habits and development of asthma in early childhood. : Prev Med, 2012 Jan 1;54(1):94-6.
 - 山中龍宏:子どもの傷害予防に必要な活動とは。からだの科学 272 号 : 136-142, 2012
- ### 2. 学会発表
- 浅井洋代他:母子保健情報の利活用～新しい乳幼児健康診査における個別データ集積システムの構築について・平成 23 年度愛知県小児保健協会総会兼学術集会・2012 年 2 月・大府市
 - 山崎嘉久:乳幼児健診からつなげる支援～子育て支援の必要性の判定を用いて・第 70 回日本公衆衛生学会 シンポジウム「気になる子どもと家族のサポートー発達障害児支援システムと連携のあり方ー」・2011 年 10 月・秋田市
 - 山崎嘉久:乳幼児健診における情報の利活用に関する検討. 第 114 日本小児科学会学術集会・2011 年 8 月・東京都
 - 浅井洋代他:新しい乳幼児健康診査の結果集積における母子保健情報データシステムの運用について・第 57 回東海公衆衛生学会・2011 年 7 月・東浦町
 - 加藤恵子 2011 年度 日本公衆衛生学会 0503-27 妊娠期からハイリスク家庭を把握するための 15 質問項目へ検討～オレゴン州の虐待予防プログラムのふるいわけ項目を参考に～
 - 原田正平: 医療情報提供サイトのアンケート機能を用いた先天性甲状腺機能低下症患者への告知に関する調査. 第 84 回日本内分泌学会学術総会, 神戸市, 平成 23 年 4 月
 - Shohei Harada: Activities in Japan: The Joint Committee To Protect Children from Tobacco Hazards. The 7th Congress of Asian Society for Pediatric Research, PAS Topic Symposium “ Global Tobacco Control and Child Survival “, Denver, USA, May , 2011

- 原田正平、矢作尚久、仲宗根正、山縣然太郎：
タブレット型端末を導入した沖縄県乳幼児
健診システム構築の検討。第70回日本公衆
衛生学会総会、秋田市、平成23年10月
- 稲岡一考、渡辺倫子、鈴木恵美子、原田正平：
災害時の新生児スクリーニング事業のため
の情報交換システムの確立。第38回日本マ
ス・スクリーニング学会学術集会 シンポジ
ウムI「大震災緊急シンポジウム」, 福井市,
平成23年10月
- 原田正平、横谷 進、皆川真規：東日本大震
災に伴う甲状腺ホルモン薬生産停止後の安
定供給への取り組み。第54回日本甲状腺学
会学術集会、大阪市、平成23年11月
- 原田正平:東日本大震災後のインターネット
を利用した医療情報提供の有用性の検討, 第
54回日本甲状腺学会学術集会、大阪市、平
成23年11月
- 荒木田美香子 気になる子どもと家族のサ
ポート 発達障害児支援システムと連携の
あり方 地域と保育園・幼稚園、学校との連
携による気になる子どもと家族のサポート
第70回日本公衆衛生学会シンポジウム。
2011年10月
- 荒木田美香子. 教師を対象としたペアレン
トトレーニング研修の試み。第58回日本学校
保健学会。2011年11月
- 荒木田美香子、山下留理子、青柳美樹。市町
村・保健所の持つ母子保健情報の関連機関へ
の情報提供の課題と促進要因の検討。第31
回日本看護科学学会学術集会。2011年12月
- 山中龍宏、北村光司、本村陽一、西田佳史：
傷害情報を予防に結びつける。日児誌
115:422, 2011
- 田中太一郎、永井亜貴子、荒木田美香子、市
川香織、尾島俊之、近藤尚巳、鈴木孝太、玉
腰浩司、仲宗根正、原田正平、松浦賢長、山

崎嘉久、薬袋淳子、山縣然太郎：取り組みの
データベース及び冊子「セレクト」の利活用
状況-健やか親子21-。第70回日本公衆衛生
学会。2011年10月、秋田市

- 永井亜貴子、田中太一郎、松浦賢長、山崎嘉
久、尾島俊之、玉腰浩司、荒木田美香子、市
川香織、山縣然太郎：「健やか親子21」の取
り組みと出生数の変化。第70回日本公衆衛
生学会。2011年10月、秋田市

- 永井亜貴子、田中太一郎、松浦賢長、山崎嘉
久、尾島俊之、玉腰浩司、市川香織、荒木田
美香子、山縣然太郎：出生数の変化に関連す
る因子の検討。第22回日本疫学会学術総会。
2012年1月、千代田区

- A Nagai, T Tanaka, K Matsuura, Y Yamazaki,
T Ojima, K Tamakoshi, M Arakida, K
Ichikawa, Z Yamagata: Relationship
between pregnancy or childbirth
satisfaction and willingness for
subsequent pregnancy in Japan. IEA World
Congress of Epidemiology. August 7-11,
2011. Edinburgh, Scotland

F. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

Ⅱ . 分 担 研 究 報 告 書

母子保健情報利活用システムモデル事業に関する研究

研究協力者	永井 亜貴子	（社会福祉法人 恩賜財団 母子愛育会／ 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）
研究協力者	田中 太一郎	（東邦大学医学部 社会医学講座 衛生学）
研究分担者	荒木田 美香子	（国際医療福祉大学小田原保健医療学部）
研究分担者	尾島 俊之	（浜松医科大学医学部健康社会医学）
研究分担者	仲宗根 正	（沖縄県宮古福祉保健所）
研究分担者	松浦 賢長	（福岡県立大学看護学部）
研究分担者	古屋 好美	（山梨県中北保健福祉事務所）
研究分担者	山崎 嘉久	（あいち小児保健医療総合センター）
研究代表者	山縣 然太郎	（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）

平成 22 年度までに研究班で開発をした、母子保健情報利活用システムの実効性をさらに多くの市町村において検証し、普及を図ることを目的として、新たなモデル地区（7 保健所 26 市町村）において、モデル事業を実施した。モデル事業の実施に当たって、特に子どもの育てにくさ、育児不安、虐待に関する「気になる親子」と子育て支援に視点をおき、乳幼児健診において共通で調査することが望ましいと考えられる共通の健診・問診項目を作成し、それらの調査項目を用いてモデル事業を実施した。

静岡県、宮崎県、山梨県の 7 保健所 26 市町村において、乳幼児健診において共通の健診・問診項目を用いて調査を行い、データを電子化・集積し、市町村に還元するという仕組みを実際に行うことができた。

本モデル事業において、「気になる親子」を支援するための項目として採用した「ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか」「どのようなお子さんですか」「子どもを虐待しているのではないかと思いますか」は相互に関連があり、また、他の項目とも関連があることが明らかとなり、子育て支援の面から有用な項目であることが示唆された。この 3 項目は、乳幼児健診の共通の問診項目とすべきと考える。

A. 研究目的

各市町村で実施されている乳幼児健診では、身体計測や診察、問診票等を通じて多くの情報が得られている。それらの情報は健診の場における、受診者親子とのコミュニケーションツールとしては利用されているが、これらの情報を市町村単位や都道府県単位で分析・検討し、

市町村や都道府県の母子保健事業の企画・評価などに利活用するという事はあまり行われていない。そこで、本研究班では、参加各市町村で乳幼児健診データを入力（電子化）し、そのデータを保健所が主体となって分析し、各市町村における経年変化や市町村間の比較を行い、各市町村に還元するというモニタリングシ

システムを提案し¹⁾、その実効性の検証を愛知県や山梨県の数市町村で平成 17 年度から行ってきた²⁻⁴⁾。

また、平成 17 年度と 21 年度に実施された「健やか親子 21」の中間評価報告書においても、「母子保健情報の収集と利活用に特に配慮することが重要」で、「母子保健事業の企画、実行、評価を適切に行うため、母子保健情報の収集、分析、活用の仕組みを構築する必要がある」とされている⁵⁾⁶⁾。市町村や都道府県が連携としてこの仕組みを構築する際にも、本研究班で提案しているモニタリングシステムは十分、有用である。

そこで、「健やか親子 21」の最終評価に向け、全国で活用できる市町村における母子保健統計情報のマーケティング・インフォメーション・システムの構築をめざして、平成 22 年度までに研究班で開発をした、母子保健情報利活用システムの実効性をさらに多くの市町村において検証し、普及を図ることを目的とした。

また、現在、市町村の乳幼児健診で用いられている問診票は、ほとんどの市町村で統一されておらず、市町村間でのデータの比較が難しい状況にある。モデル事業では、共通の調査項目を用いて調査し、市町村ごとに結果を比較し、さらに市町村へ結果を還元することで、保健所・市町村の母子保健担当者にデータの利活用と共通の項目の有用性について実感してもらうこともモデル事業の目的の一つである。

B. 研究方法

平成 22 年度の研究において、モデル事業の参加保健所・市町村の募集の結果、事業に参加することとなった静岡県、宮崎県、山梨県の 7 保健所 26 市町村にてモデル事業を実施した。

参加市町村の平成 23 年 6 月から平成 24 年 1 月に乳幼児健診を受診した児とその保護者を対象として調査を実施した。調査には、平成 22 年度の研究において、人口規模をもとに抽出した市町村から収集した乳幼児健診の健診・問診票と「健やか親子 21」の中間評価の結果をもとに精査・検討し、特に子どもの育てにくさ、育児不安、虐待に関する「気になる親子」と子育て支援に視点をおき、作成した無記名の調査票を用いた。調査票は研究協力依頼文とともに、参加市町村の乳幼児健診の問診・健診票などの配布方法に応じて、乳幼児健診の前に郵送で送付、または、乳幼児健診当日に配布し、乳幼児健診当日に収集した。調査票の提出を以て研究への参加に同意したこととした。

調査票のデータは、4 市町村はその市町村の担当者が研究班で用意したソフトウェアを用いて電子化（入力）した後、データを研究班に提出してもらい、その他の市町村は記入済みの調査票を研究班に送付し、研究班で電子化を行った。電子化し、集積したデータは、保健所ごとに集計・分析を行い、各保健所とその保健所の管轄市町村の担当者が参加するデータ分析会を開催し、分析結果の還元を行った（図 1 を参照）。

市町村でのデータの電子化には、平成 22 年度までに研究班で開発したデータベースソフト「母子保健情報システム 市町村版」をモデル事業の調査票に合わせて項目を変更したバージョンを用いた。市町村でのソフトウェアの導入・運用にあたっては、使用方法やエラーなどについてのサポートを行い、追加のマニュアルの作成も行った。また、ソフトウェアの機能や操作性の向上のための改修作業も開発者とともに実施した。

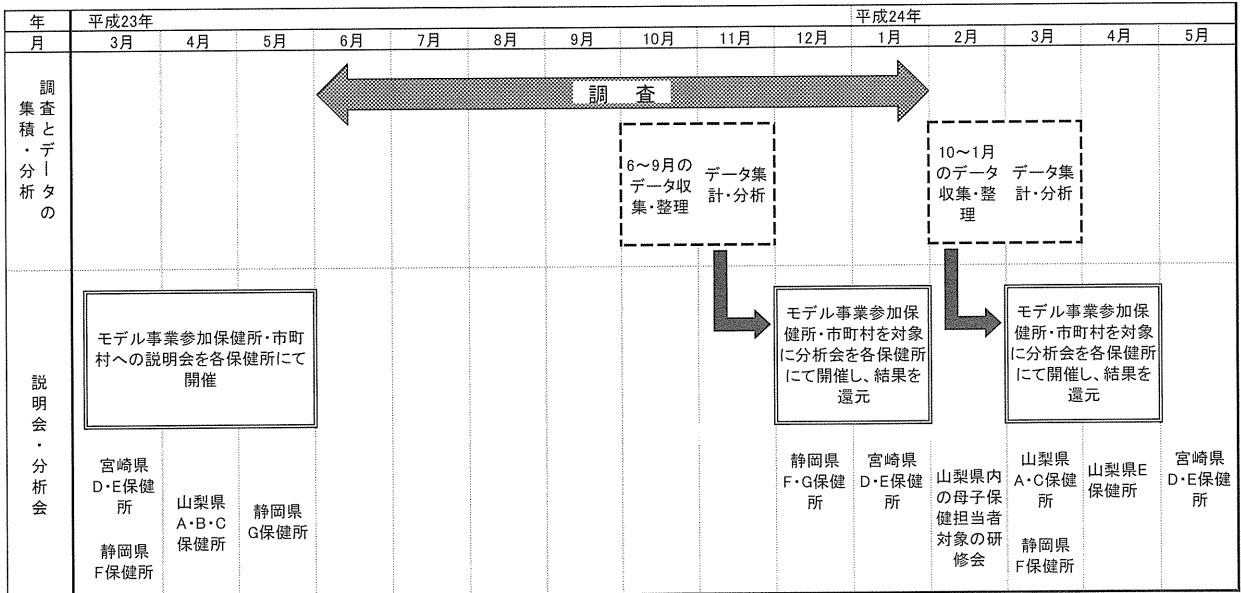


図1 モデル事業の実施スケジュール概要

(倫理面への配慮)

調査票は無記名であり、市町村で電子化したデータについても、個人情報を外し匿名化したものを集積した。

本研究の実施にあたっては、山梨大学医学部倫理委員会の承認を得た。

C. 研究結果・考察

モデル事業の実施期間における乳幼児健診の対象者と受診者、調査票の配布数と回収数などの実施状況を表1に示した。3, 4ヶ月児については、健診を医療機関に委託している市町村があり、それらの市町村は3, 4ヶ月児については調査を行わなかったため、他の月齢と比較すると3, 4ヶ月児の対象者は少なかった。

表1 モデル事業の実施状況

	健診対象者数	受診者数	調査票配布数	調査票回収数	調査票回収率
3, 4ヶ月児	1042	1031	1025	962	94.2%
1歳6ヶ月児	2647	257	2046	2429	9 8%
3歳児	2929	2835	2937	2328	8 5%

「気になる親子」に関する質問項目についての結果を図2～図4に示した。子どもの月齢

があがると、母親が子どもとゆったりした気分で過ごせる時間がない、子どもを育てにくい、虐待しているのではないかと思うことがあると回答する者が多くなる傾向がみられ、「健やか親子 21」の中間評価の結果と同様の傾向であった^{5,6)}。さらに、「気になる子ども」に関する項目についてクロス集計した結果を図5, 図6に示した。どの月齢においても、「ゆったりとした気分で過ごせる時間がありますか」について「いいえ」とした回答者に子どもを育てにくいと回答した者の割合が多く、また、「どのようなお子さんですか」について「育てにくい」とした回答者に、「子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか」について「はい」と回答した者の割合が多かった。モデル事業に参加した保健所・市町村を対象に開催した分析会において、市町村の母子保健担当者から、「どのようなお子さんですか」について「どちらともいえない」、「子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか」について「何ともいえない」とした対象者についても、サブクエスションが必要ではないかという意見が出た。「どちらともいえない」などの中

間的な選択肢を選んだ対象者に対してのサブ
 クエスションやフォローについては、今後検討
 する必要があると考えられる。

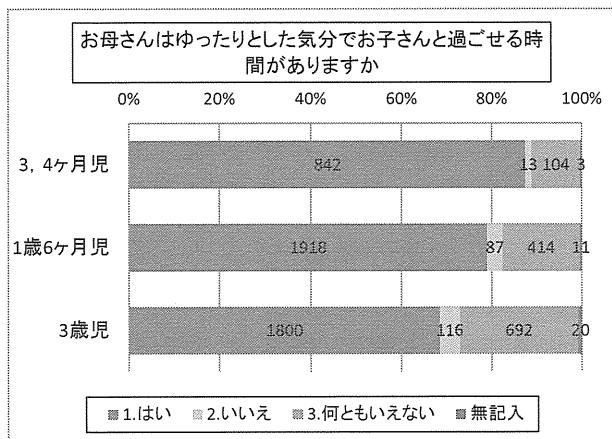


図 2 ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますかについての結果

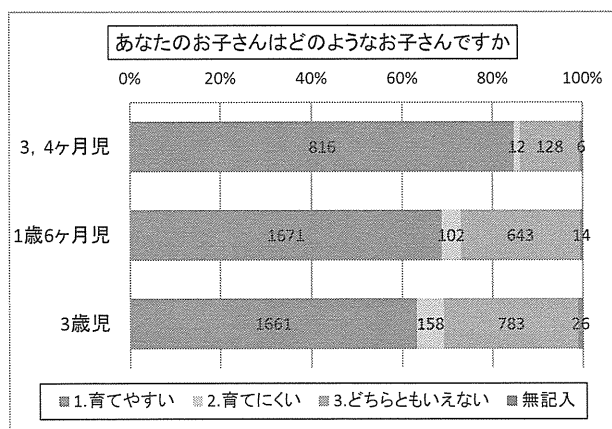


図 3 どのようなお子さんですかについての結果

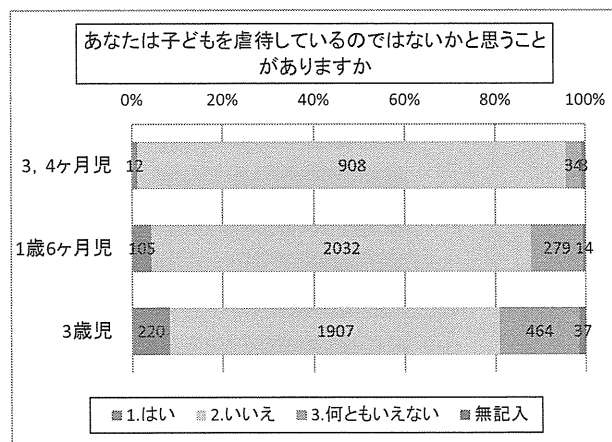


図 4 子どもを虐待しているのではないかと考えることがありますかについての結果

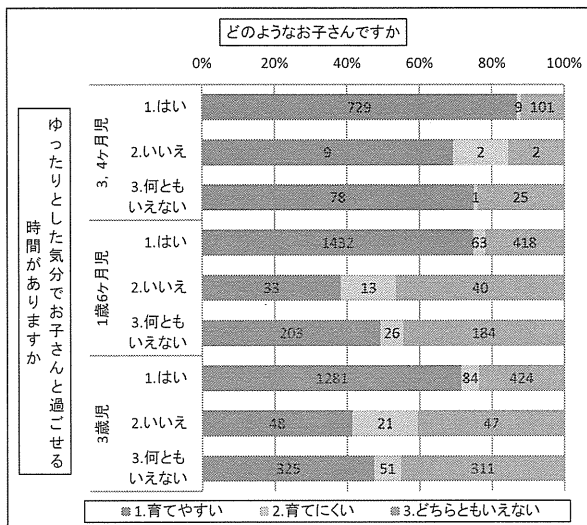


図 5 「ゆったりとした気分で過ごせる時間がありますか」と「どのようなお子さんですか」のクロス集計の結果

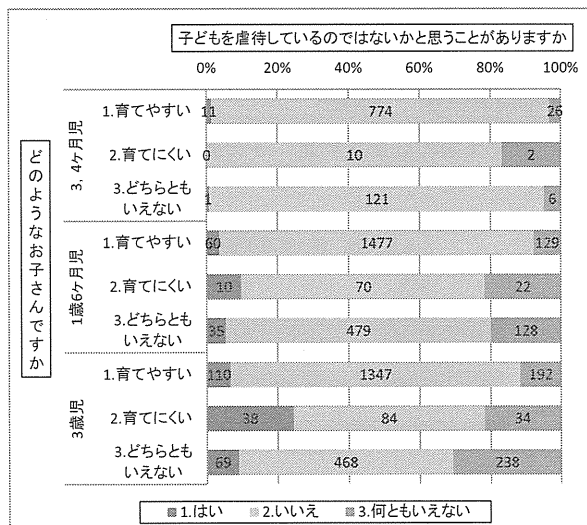


図 6 「どのようなお子さんですか」と「子どもを虐待しているのではないかと考えることがありますか」のクロス集計の結果

育児支援の必要度判定についての結果を
 図 7～図 10 に示した。子の要因（発達）につ
 いては、3, 4ヶ月児では約 9 割が支援不要で
 あったが、1歳6ヶ月児と 3歳児では 3 割以上
 が何らかの支援が必要と判定されていた。育児
 支援の必要度判定の全項目についてまとめた
 結果を図 11 に示した。3, 4ヶ月児では約 5 割、
 1歳6ヶ月児と 3歳児では約 6 割がいずれかの
 項目で要支援と判定されていた。

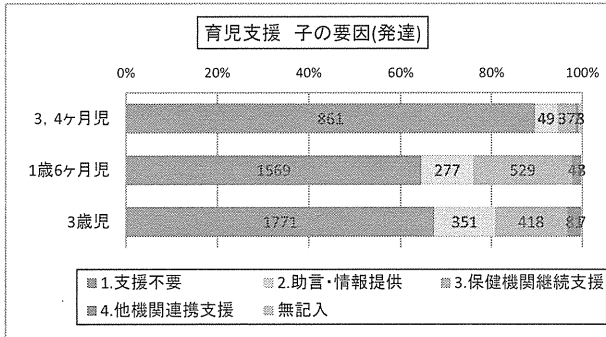


図7 育児支援の必要度判定 子の要因（発達）の結果

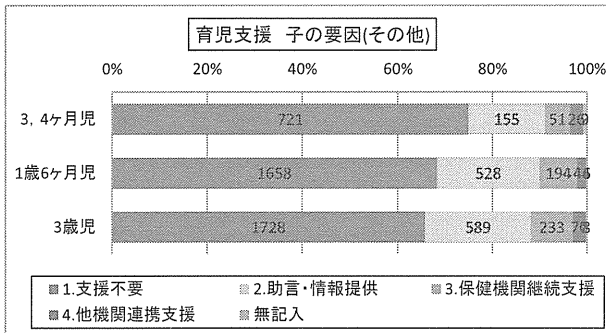


図8 育児支援の必要度判定 子の要因（その他）の結果

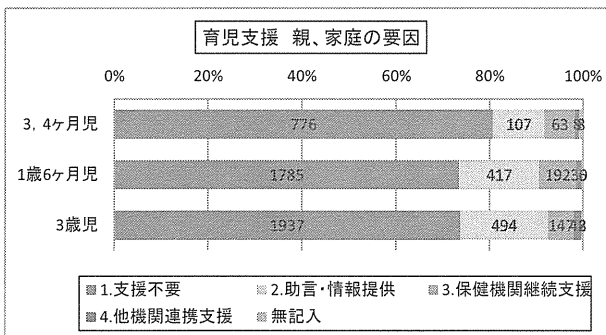


図9 育児支援の必要度判定 親、家庭の要因の結果

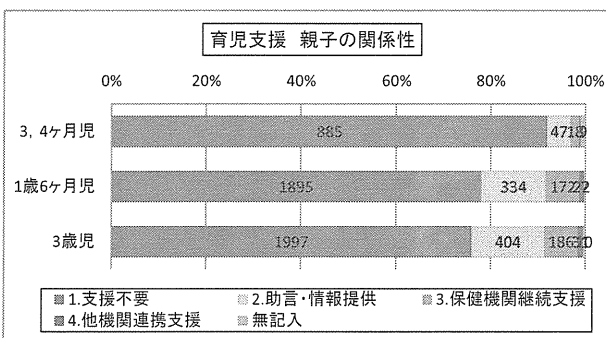


図10 育児支援の必要度判定 親子の関係性の結果

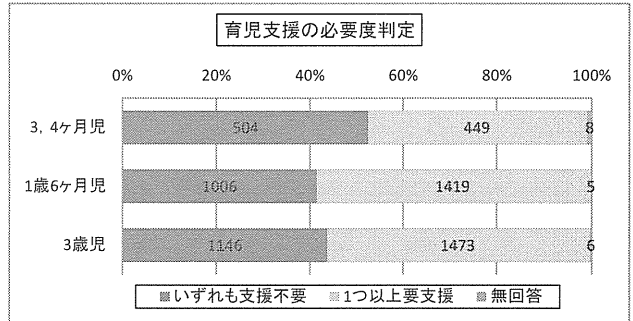


図11 育児支援の必要度判定の結果のまとめ

「気になる親子」に関する項目と育児支援の必要度判定についてクロス集計した結果を図12～図14に示した。「気になる親子」に関するいずれの項目についても、ネガティブな回答をした対象者、「どちらともいえない」などの曖昧な回答をした対象者において、1つ以上が要支援と判定された対象者の割合が多かった。このことから、「気になる親子」に関する項目である「ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか」「どのようなおこさんですか」「子どもを虐待しているのではないかと思いますか」ということがありますか」は、子育て支援の面から見ても有用な調査項目であり、乳幼児健診時に対象者とコミュニケーションを取る際の糸口や健診後のフォローに活かすことができるのではないかと考えられる。

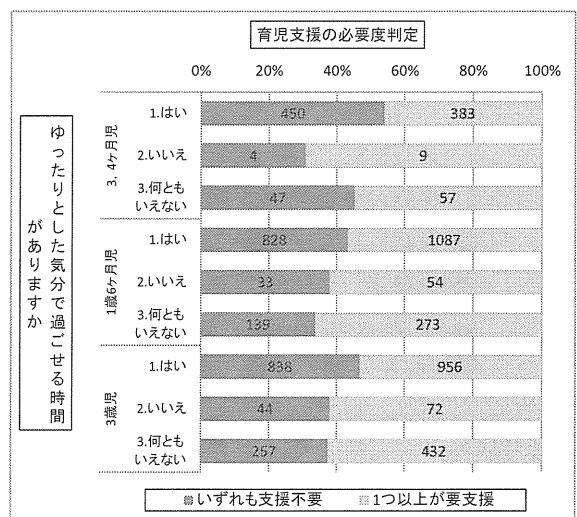


図12 「ゆったりとした気分で過ごせる時間がありますか」と育児支援の必要度判定のクロス集計の結果

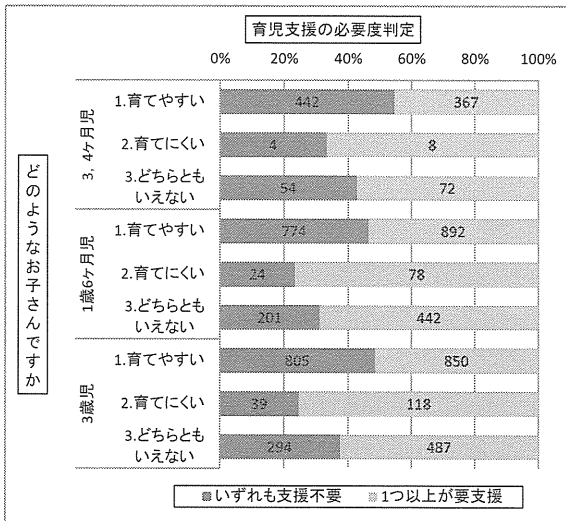


図13 「どのようなお子さんですか」と育児支援の必要度判定のクロス集計の結果

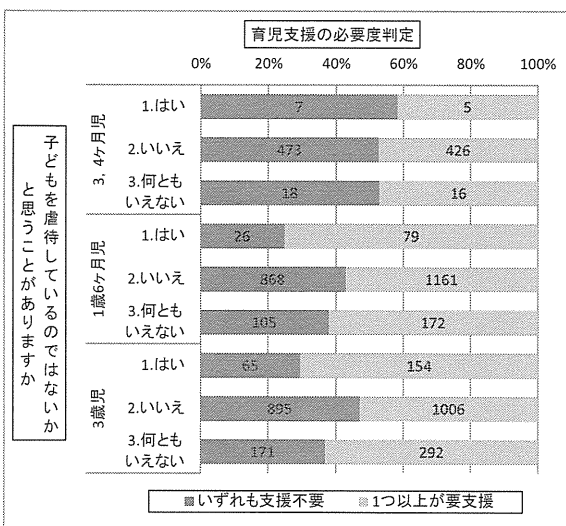


図14 「虐待しているのではないかと思いますか」と育児支援の必要度判定のクロス集計の結果

調査表のデータ入力については、4市町村が自市町村において電子化を行ったが、他の市町村の調査票については研究班で一括して電子化を行った。分析会の際に、自市町村で電子化を行った市町村から、「入力作業に慣れるとあまり時間がかからなくなりスムーズにできた」という感想が聞かれ、入力ソフトの使用のしやすさについては特に問題がないと考えられる。また、入力を行わなかった市町村からも、「共通の調査項目を用いることで市町村間の結果の比較ができ、分析会での他の市町村の担

当者との意見交換ができることが有用であることが実感できた」「モデル事業で得られたデータを活用したい」という意見があり、今後も保健所、市町村に対してサポートを行っていく必要があると考えられる。

D. 結論

静岡県、宮崎県、山梨県の7保健所26市町村において、乳幼児健診のデータを電子化し、保健所単位で集計・分析し、分析会において市町村に結果を還元する取り組みである母子保健情報利活用システムのモデル事業を行った。

本モデル事業において、「気になる親子」を支援するための項目として採用した「ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか」「どのようなお子さんですか」「子どもを虐待しているのではないかと思いますか」は相互に関連があり、また、他の項目とも関連があることが明らかとなり、子育て支援の面から有用な項目であることが示唆された。この3項目は、乳幼児健診の共通の問診項目とすべきと考える。

【参考文献】

- 1) 松浦賢長、田中太一郎、山崎嘉久、山縣然太朗. 母子保健情報の利活用をめざした全国システムの展開に関する分担班まとめ. 「健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」平成17年度総括・分担研究報告書:P102-106. 2005
- 2) 山崎嘉久、松浦賢長、田中太一郎、加藤恵子、北野淑恵、山本田鶴子、河合美穂子、竹市由紀子、後藤文枝、柘植由美、北川美香、水野歩美、澤田光江、松田由佳. 愛知県知多半島エリアにおける乳幼児健診の個別データ集積システムモデル構築に関する研究. 「健やか親子21の推進のための情報システム構築お

よび各種情報の利活用に関する研究」平成 18 年度総括・分担研究報告書：P147-155. 2006

3) 山本田鶴子、河合美穂子、竹市由紀子、栗本洋子、加藤基、山崎嘉久、玉腰浩司、和田恵子、田中太一郎. 「健やか親子 21 の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」平成 18 年度総括・分担研究報告書：P162-166. 2006

4) 田中太一郎、鈴木孝太、山崎嘉久、松浦賢長、尾島俊之、山中龍宏、仲宗根正、薬袋淳子、山縣然太郎. 乳幼児健診データを集積・利活用するためのツールの開発及び山梨県 K 保健所管内における母子保健情報モニタリングシステムの構築. 「健やか親子 21 を推進するための母子保健情報の利活用および思春期やせ症防止のための学校保健との連携によるシステム構築に関する研究」平成 19 年度 総括・分担研究報告書：P38-42. 2007

5) 「健やか親子 21」推進検討会. 「健やか親子 21」中間評価報告書：<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2006/03/dl/s0316-4a.pdf>. 2006.3

6) 「健やか親子 21」の評価等に関する検討会. 「健やか親子 21」第 2 回中間評価報告書：<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/03/dl/s0331-13a015.pdf>. 2010.3

E. 研究発表

なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

なし

親 と 子 の 健 康 度 調 査

- ご記入いただいた調査票は、健診会場で係員にお渡しください。
- この調査で「お子さん」というのは、今回、3か月児健診または4か月児健診を受けられるお子さんのことを指します。また、「お母さん」「お父さん」とは、この「お子さん」の母親、父親である方を指します。

1. お子さんのことについて、お聞きします。

1) このお子さんは何番目のお子さんですか。第4子以降の場合は、カッコ内に第何子かをご記入ください。

1. 第1子 2. 第2子 3. 第3子 4. 第4子以降 ()

2) お子さんの性別をお答えください。 1. 男 2. 女

3) お子さんの生年月日をお答えください。 (平成 年 月 日)

4) お子さんと同居しているおじいちゃんやおばあちゃん(祖父母)はいますか。(いくつ〇をつけてもかまいません)

1. 父方の祖父 2. 父方の祖母 3. 母方の祖父
4. 母方の祖母 5. 同居していない

5) 生後1ヵ月時の栄養法はどうでしたか。

1. 母乳 2. 人工乳 3. 混合

6) 現在の主な栄養方法は何ですか。

1. 母乳 2. 人工乳 3. 混合

★次の7～9は、母子健康手帳で確認して、お答えください。

7) 目つきや目の動きがおかしいのではないかと気になりますか。

1. はい 2. いいえ

8) 見えない方向から声をかけてみると、そちらの方を見ようとしますか。

1. はい 2. いいえ

9) BCG接種を済ませましたか。

1. はい 2. いいえ

2. 子育ての状況などについて、お聞きします。

1) お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

次のページにもお答えください。

保健センター記入欄

1) 健診受診日		平成	年	月	日
2) 出生体重		()	g	
3) 妊娠週数		()	週	
4) 3、4 ヶ月児健診の結果		体重 ()	g	身長 (
)	cm	
一般健康診査 受診結果		1. 異常なし	2. 既医療	3. 要観察	4. 要医療 (精神面・身体面)
		5. 要精密			
精密健康診査 受診結果		1. 異常なし	2. 要観察	3. 要医療 (精神面・身体面)	4. 未受診
		5. 未把握			
育 児 支 援	子の要因 (発達)	1. 支援不要	2. 助言・情報提供	3. 保健機関継続支援	4. 他機関連携支援
	子の要因 (その他)	1. 支援不要	2. 助言・情報提供	3. 保健機関継続支援	4. 他機関連携支援
	親、家庭の要因	1. 支援不要	2. 助言・情報提供	3. 保健機関継続支援	4. 他機関連携支援
	親子の関係性	1. 支援不要	2. 助言・情報提供	3. 保健機関継続支援	4. 他機関連携支援
	授乳	1. 支援不要	2. 助言・情報提供	3. 保健機関継続支援	4. 他機関連携支援
5) EPDS (エジンバラスケール) の直近の得点		()	点	
この得点の実施時点:		1. 新生児訪問時	2. 未熟児訪問時	3. こんにちは赤ちゃん事業時	
		4. 乳児訪問時	5. 3~4ヶ月健診時	6. 産前訪問時	7. その他の時点

親と子の健康度調査

- ご記入いただいた調査票は、健診会場で係員にお渡しください。
- この調査で「お子さん」というのは、今回、1歳6ヶ月児健診を受けられるお子さんのことを指します。また、「お母さん」「お父さん」とは、この「お子さん」の母親、父親である方を指します。

1. お子さんのことについて、お聞きします

- 1) このお子さんは何番目のお子さんですか。第4子以降の場合は、カッコ内に第何子かをご記入ください。
1. 第1子 2. 第2子 3. 第3子 4. 第4子以降 ()

- 2) お子さんの性別をお答えください。 1. 男 2. 女

- 3) お子さんの生年月日をお答えください。 (平成 年 月 日)

- 4) お子さんと同居しているおじいちゃんやおばあちゃん(祖父母)はいますか。(いくつ〇をつけてもかまいません)
1. 父方の祖父 2. 父方の祖母 3. 母方の祖父
4. 母方の祖母 5. 同居していない

- 5) 母乳をいつまであげていましたか。
1. ()歳 ()ヵ月頃まで 2. 継続中 3. 最初から人工乳

- 6) 離乳食はいつから始めましたか。
()歳 ()ヵ月頃から開始

- 7) ママ、ブーブーなど意味のあることばをいくつか話しますか。
1. はい 2. いいえ

★次の7～12は、母子健康手帳で確認して、お答えください。

- 8) 極端にまぶしがったり、目の動きがおかしいのではないかと気になりますか。
1. いいえ 2. はい

- 9) うしろから名前を呼んだとき、振り向きますか。
1. はい 2. いいえ

- 10) BCG接種を済ませましたか。
1. はい 2. いいえ

- 11) 三種混合(DPT(ジフテリア・百日せき・破傷風))の予防接種(I期初回3回)を済ませましたか。
1. はい 2. いいえ

- 12) 麻疹(はしか)の予防接種を済ませましたか。(麻しん・風しん混合(MR)ワクチンも含む)
1. はい 2. いいえ

2. 子育ての状況などについて、お聞きします

- 1) お母さんはゆったりとした気分でお子さんとお過ごせる時間がありますか。
1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

次のページにもお答えください。

2) あなたのお子さんはどのようなお子さんですか。

1. 育てやすい 2. 育てにくい 3. どちらともいえない

→上の2)で「2. 育てにくい」と答えられた方にお聞きします。

それはどのようなことですか。(いくつ○をつけてもかまいません)

1. 偏食がある 2. 夜寝ない 3. 夜泣きをする 4. 人見知りや激しい
5. 物音に過敏である 6. 神経質だ 7. 病気がある
8. その他 ()

3) あなたは子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

→上の3)で「1. はい」と答えられた方にお聞きします。

それはどのようなことですか。(いくつ○をつけてもかまいません)

1. たたくなど 2. 食事を長時間与えないなどの制限や放置 3. しつけのし過ぎ
4. 感情的な言葉 5. その他 ()

4) あなたの日常の育児の相談相手は誰ですか。(いくつ○をつけてもかまいません)

1. 夫婦で相談する 2. 祖母(または祖父) 3. 近所の人 4. 友人
5. かかりつけの医師 6. 保健師や助産師 7. 保育士や幼稚園の先生 8. 電話相談
9. インターネット 10. 誰もいない 11. その他 ()

5) 現在、お母さんは働いていますか。「1. 働いている」と回答した方は、カッコ内に週何時間くらい働いているかについてもお答えください。

1. 働いている(週 時間くらい) 2. 育児休業中である 3. 働いていない

6) お母さんの年齢はおいくつですか。()歳

3. あなたやご家族、お子さんの生活習慣について、お聞きします。

1) お子さんの同居家族に喫煙者はいますか。「2. はい」と回答した方は、カッコ内のどなたが喫煙するかについても○つけて下さい)

1. いいえ 2. はい(父・母・その他())

2) お子さんの起きる時刻と寝る時刻は、ふつう何時頃ですか。(1に○をつけた方はカッコ内にもお答えください)

1. 午前()時台に起きて、午後()時台に寝る 2. 決まっていない

3) あなたのお子さんは、テレビ・ビデオ・DVDなどを1日にどのくらい観ていますか。

1. 2時間未満 2. 2時間以上4時間未満 3. 4時間以上

4) あなたのお子さんの歯みがきはどのようにしていますか。

1. 親が仕上げみがきをする 2. 子がみがくのみ
3. 親がみがいてあげるのみ 4. みがかない

5) あなたのお子さんのかかりつけの医師はいますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

★最後に、記入して頂いた方とこのお子さんとの続柄をお答えください。

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他

ご協力ありがとうございました。

保健センター記入欄

1) 健診受診日		平成	年	月	日
2) 出生体重		() g	
3) 妊娠週数		() 週	
4) 1歳6ヶ月児健診の結果		体重 () kg	身長 (
) cm	
う歯数 (総本数)		() 本	う歯数 (未処置歯数)
) 本	
う蝕罹患型		1. 01型	2. 02型	3. A型	4. B型
		5. C型	9. 無記入		
一般健康診査 受診結果		1. 異常なし	2. 既医療	3. 要観察	4. 要医療 (精神面・身体面)
		5. 要精密			
精密健康診査 受診結果		1. 異常なし	2. 要観察	3. 要医療 (精神面・身体面)	4. 未受診
		5. 未把握			
発 達	運動発達	1. 異常なし	2. 既医療	3. 要観察	4. 要紹介
	精神発達	1. 異常なし	2. 既医療	3. 要観察	4. 要紹介
育 児 支 援	子の要因 (発達)	1. 支援不要	2. 助言・情報提供	3. 保健機関継続支援	4. 他機関連携支援
	子の要因 (その他)	1. 支援不要	2. 助言・情報提供	3. 保健機関継続支援	4. 他機関連携支援
	親、家庭の要因	1. 支援不要	2. 助言・情報提供	3. 保健機関継続支援	4. 他機関連携支援
	親子の関係性	1. 支援不要	2. 助言・情報提供	3. 保健機関継続支援	4. 他機関連携支援

親と子の健康度調査

- ご記入いただいた調査票は、健診会場で係員にお渡しください。
- この調査で「お子さん」というのは、今回、3歳児健診を受けられるお子さんのことを指します。また、「お母さん」「お父さん」とは、この「お子さん」の母親、父親である方を指します。

1. お子さんのことについて、お聞きします。

- 1) このお子さんは何番目のお子さんですか。第4子以降の場合は、カッコ内に第何子かをご記入ください。
1. 第1子 2. 第2子 3. 第3子 4. 第4子以降 ()
- 2) お子さんの性別をお答えください。 1. 男 2. 女
- 3) お子さんの生年月日をお答えください。 (平成 年 月 日)
- 4) お子さんと同居しているおじいちゃんやおばあちゃん(祖父母)はいますか。(いくつ〇をつけてもかまいません)
1. 父方の祖父 2. 父方の祖母 3. 母方の祖父
4. 母方の祖母 5. 同居していない
- 5) 母乳をいつまであげていましたか。
1. ()歳 ()ヵ月頃まで 2. 継続中 3. 最初から人工乳
- 6) 離乳食はいつから始めましたか。
()歳 ()ヵ月頃から開始

★次の7～12は、母子健康手帳で確認して、お答えください。

- 7) 耳の聞こえが悪いのではないかと気になりますか。
1. いいえ 2. はい
- 8) ままごと、怪獣ごっこなど、ごっこ遊びができますか。
1. はい 2. いいえ
- 9) 遊び友だちがいますか。
1. はい 2. いいえ
- 10) BCG接種を済ませましたか。
1. はい 2. いいえ
- 11) 三種混合(DPT(ジフテリア・百日せき・破傷風))の予防接種(I期初回+I期追加)を済ませましたか。
1. はい 2. いいえ
- 12) 麻疹(はしか)の予防接種を済ませましたか。(麻しん・風しん混合(MR)ワクチンも含む)
1. はい 2. いいえ

2. 子育ての状況などについて、お聞きします。

- 1) お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。
1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

次のページにもお答えください。

2) あなたのお子さんはどのようなお子さんですか。

1. 育てやすい 2. 育てにくい 3. どちらともいえない

→上の2)で「2. 育てにくい」と答えられた方にお聞きします。

それはどのようなことですか。(いくつ○をつけてもかまいません)

1. 偏食がある 2. 夜寝ない 3. 夜泣きをする 4. 人見知りや激しい
5. 物音に過敏である 6. 神経質だ 7. コミュニケーションがとりにくい
8. 病気がある 9. その他 ()

3) あなたは子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

→上の3)で「1. はい」と答えられた方にお聞きします。

それはどのようなことですか。(いくつ○をつけてもかまいません)

1. 食事を長時間与えないなどの制限や放置 2. たたくなど 3. しつけのし過ぎ
4. 感情的な言葉 5. その他 ()

4) あなたの日常の育児の相談相手は誰ですか。(いくつ○をつけてもかまいません)

1. 夫婦で相談する 2. 祖母(または祖父) 3. 近所の人 4. 友人
5. かかりつけの医師 6. 保健師や助産師 7. 保育士や幼稚園の先生 8. 電話相談
9. インターネット 10. 誰もいない 11. その他 ()

5) 現在、お母さんは働いていますか。(「1. 働いている」と回答した方は、カッコ内に週何時間くらい働いているかについてもお答えください)

1. 働いている(週 時間くらい) 2. 育児休業中である 3. 働いていない

6) お母さんの年齢はおいくつですか。 () 歳

3. あなたやご家族、お子さんの生活習慣について、お聞きします。

1) お子さんの同居家族に喫煙者はいますか。(「2. はい」と回答した方は、カッコ内のどなたが喫煙するかについても○つけて下さい)

1. いいえ 2. はい(父・母・その他())

2) お子さんの起きる時刻と寝る時刻は、ふつう何時頃ですか。

1. 午前()時台に起きて、午後()時台に寝る 2. 決まっていない

3) あなたのお子さんは、テレビ・ビデオ・DVDなどを1日にどのくらい観ていますか。

1. 2時間未満 2. 2時間以上4時間未満 3. 4時間以上

4) あなたのお子さんは、トイレやオマルでおしっこをしますか。

1. 独りでできる 2. 手伝えばできる 3. できない

5) あなたのお子さんの歯みがきはどのようにしていますか。

1. 親が仕上げみがきをする 2. 子がみがくのみ
3. 親がみがいてあげるのみ 4. みがかない

6) あなたのお子さんのかかりつけの医師はいますか。

1. はい 2. いいえ 3. 何ともいえない

★最後に、記入して頂いた方とこのお子さんとの続柄をお答えください。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母 4. その他

ご協力ありがとうございました。